

# 道路改良上の要件二つ

増井幸雄

道路改良上の意見を豫て編輯者から徴せられて居たが、身邊多忙にして永く其の約を果たすことを得なかつた。今日と雖も身邊の事情は依然として變りがないのであつて想を練り考を纏めるの暇を持たぬ。而も何時までも約束を破り続けることは出来ないから、茲に所見の一端を斷片的に述べることによつて責を塞ぎたいと思ふ。

道路の改良に就いて最も根本的に必要なことは、道路の改良が有利な又必要な事柄であるといふことを正しく認識することであると思ふ。蓋し此の認識が充分にあれば、道路改良の事に携はる者の間に自信も得られ熱意も生ずるのであつて、従つて道路の改良といふ事業そのものが著しく進捗することになるからである。凡そ人の道路を見るに當つては之を種々の見地からすることが出来るのであるが、道路は先づ何よりも先に經濟の方面から陸上交通の通路として見るべきものなることとは争なき所であらう。従つて、道路改良の問題を考案するに當つては、交通機關の改善が國民經濟

上に如何なる影響を與へるかの見地からしなければならぬ。然るに今此の見地から考察すれば、道路の改良は一切の産業に對して直接にも間接にも種々の方面から絶大なる援助を與へて、之を振興せしめるに力あるものなることが了解されるのである。蓋し、道路が改良されると、従來の運送方法に依つても、或は之が爲めに可能となる新規の運送方法に依つても、共に一方に於ては運送所要時間の短縮運送費の低落運送中の破損の減少その他の理由に依つて有らゆる生産者にとつて直接に費用の減少を來さしめるのみならず、他方に於ては貨物の販賣地域が擴大され従來の販賣地域内に於ても販賣量が増加するの結果として、茲に生産量の増加、事業の振興を來すに至るからである。

道路の改良が生産費を節約せしめ配給費を節約せしめて以て、貨物の販賣量の増加を援け、従つて又生産業の維持發達に多大に貢獻するものなることは、好景氣の際でも不況の際でも變りはない。併し、それは不況の際に於て最も顯著な役割を演じ得るものなることは否定し難い所である。蓋し、不況の際には生産者にとつては生産費及び配給費の節減こそ最も重要な販路維持策であり、又販路擴張策たるのであるが、此の目的の爲めには運賃の節減、就中最も高價なる道路上の運賃の節減が最も有効に役立ち得る。而も他方に於ては、消費者の購買力を維持せしめ進んで之を擴大せしめることを必要とするのであるが、此の目的の爲めには労働者の賃銀の引下や解雇の如きは云はゞ自殺的方策であり、材料供給者に値下を強いて其の所得の減少を來さしめることも同様であつて、生産費配給費の節約をば道路改良に基づく運送費の節約に求めることこそ、不況切抜策としても、不況打開

策としても最も有效なる手段たるからである。

殊に本邦現時の實状の下に於ては、道路改良事業は別の方面に於ても有效なる手段として利用せられ得る。失業者に對する就職の機會増加の手段として利用され得ること即ち是れである。道路改良の事業を遂行する上に於ては、一方では高級専門の技能を有する者をも必要とするであらうが、他方に於ては此の事業にとつての熟練を有せざる者でも充分に間に合ふが如き作業に多數の人を必要とするであらう。従つて、道路改良の事業を繼續し又は擴張して行く場合には他の一般生産業に於て失業した者でも、自己本來の技能又は熟練を失ふことを恐れる者の外は、道路改良事業の方面に幾多の就職の機會を見出すであらうから失業問題は之によつて緩和されるか又は激化が防止され得るであらう。特に現今の失業増加は政府の云はゞ強制した不況の結果たる部分が少くないから、一方で自ら作つた失業者を他方で自ら處置することは政府の當然の責務とも云はれよう。此の責務を果たすの一手段は實に政府の手中に在る。道路改良事業を促進すること即ち是れである。道路改良の計畫を縮少したり延期したりすることは賢明でもなく妥當でもない。

○ 道路の改良を行ふに當つて其の計畫を立てる上に於て必要なことは、道路全體を系統的に考慮に入れるやうに努めることである。換言すれば道路網を豫め定めることである。道路の改良と云へば従來既存のものを擴大したり鋪装したりして之を改善することも含まれるであらうし、新規に道

路を特に優良なる道路を築造することも含まれるであらうが何れに就いても之を各部分單獨的に見ることなく全體を一體として考察することが必要である。蓋し道路は總べてが連絡して居るのであり、之を利用する運搬器具は道路上の有らゆる一地點から他の有らゆる地點にまで行かむことを欲するものである。従つて道路の改良が系統的でない場合には、其の改良されたる道路の利用は充分たるを得ず、其の利用を充分たらしめようとすれば或る種の運搬器具の利用を不充分たらしめることになるからである。

私が茲で道路改良計畫に系統を立てるの必要あることを特に云ひ立てるのには他にも理由がある。道路の改良に於ては全體が一體として考へられるといふ事が頗る行はれ悪い事情があること、即ち是れである。本邦の道路法に謂ふ所の道路だけに就いて見ても、國道府縣道市道町村道の別があり、それ／＼管理者を異にして居る。従つて或る任意の地方、特に大都市の郊外地方に就いて任意の狭い面積の土地を取つて考へて見るに、其の狭い面積の中に於てすらも、道路が一部は國道としての國の管理の下に在り、一部は府道又は縣道として府縣の管理の下に在り、一部は市道、一部は町村道として市並びに町村の管理の下に在るといふが如き場合がある。而も是等の管理者はそれ／＼自己の都合によつて管理の方針を定めて行くのが常であつて、其の間に協調が保たれ無いのである。更に右の面積を擴大して考へて見れば、數個の府縣、數個の市、數十又は數百の町村に跨がることになるであらうが、是等の府縣相互、市相互、町村相互の間に於ても、各自が自己の都合によつて管理を行ふ

のであつて、其の間に協調を保つて行く上に於て遺憾が多い。上級の管理者と下級の管理者との間並びに、同じ階級に屬する多數の隣接管理者の間に於て、道路改良上に協調を保つことの必要なるにも拘らず、之を保つに困難なるものある以上は、此の協調を保たしめる爲めの何等かの強制手段を採る必要がある。例へば、豫め今後十數年又は數十年の將來までも束縛する道路網を協議確定して置くとか、又は定期的に之を協定して、互に之を確守するとか云ふが如き方法の如きは是れである。道路の利用範圍と道路管理者の政治的地域とは互に一致するものでないといふ所に道路網の制定又は協定の必要が存するのである。

### ◎道路改良事業の復活

財政の緊縮をモットーとする内閣が組織された爲に、折角前内閣時代に計畫された道路改良事業は何處へやら消えてしまつた、併し夫れは、いつかは復活さるべきであることを吾人は豫言しておいた。不景氣に失業者の簇出は、其の豫言を實行せしむるに至つたことは、餘り喜ぶ世相ではないが、道路の改良さえ出来れば陰鬱な世相を轉回せしむるだけでも結構だ。

緊縮家の分家格である内務省の地方局長次田大三郎さんの口からさえも、地方起債無條件許可の聲を聞くやうに爲つたのも時代の變遷を物語る。橋を半分架け放しにしておいても構はぬ、國家財政の窮狀を救はなければならぬ、と言つた言葉が、今日此頃では橋を半分架け放しにしておくやうな無自覺な知事は居ない筈だ、と言はしむるやうに變つた、此度は道路を改良しないで産業の發展を希望するやうな地方長官は一人も居ないと、言はしむるやうに變らせたものだ、否な變ること附合だ。

六年度地方費豫算編成の時期も目捷の間に在るのとき、吾人は強て産業道路を復活せよとは言はぬ、中央の此空氣を斟酌して時代に相應する豫算を編成して貰ひたい(た)。